


## 一般質問通告書

佐野市議会議長 様

平成 27 年 6 月 / 日		受理者印
午前 11 時 59 分 受理		
午後		
議会名	平成27年 第2回 佐野市議会定例会	
発言者	議席番号13番 氏名 鈴木靖宏	
答弁を求める者 (選択してください)	市長・副市長・教育長・ <u>担当部長</u>	
質問方法 (いずれかを選択してください)	一問一答 ・ 一括質問一括答弁	
大項目(質問項目) 中項目(質問細目)	小項目(具体的な質問内容)	
1、農業政策と今後の取組について (1)耕作放棄地の現状について	①農業委員会や各種団体等の活動により、耕作放棄地の減少が堅調にみられる。 しかし、市街化区域内の農地の管理が不適切である。特に、大雨による土砂等の道路側溝への流失が問題。農地を「中山間地域」「農業振興地域」「市街化農地」等に分類し、適正管理をするべきと考えるがどうか。	
(2)米価下落対策について	①昨年の米価の確認をしたい 過去に、高温障害により「白濁米」で米価が 60 kg 当たり 6,000 円でした。農漁業災害対策措置条例適用で支援を受けた地域があった。佐野市もこの条例制定をしてはどうか提案したが、佐野市の取組を確認したい。	
(3)人・農地プランの現状と課題について	①農地中間管理機構(農地集積バンク)の現状、農業法人等に集中している現状を小中規模農家への支援にも広げてはどうか。	
(4)農産物のブランド化について	①農産物は、「とちおとめ」、かき菜「佐野そだち菜」や、なし「佐野のほほえ実」3品目。 その他の農産物のブランド化に向けての支援を確認したい。 また、ジェトロ栃木貿易情報センターを活用して輸出してはどうか。	
(5)酒米の作付け支援について	①佐野市地酒で乾杯を推進する条例を深く掘り下げると原材料も佐野産が必要。酒米作付等の支援について確認したい。	

<p>(6) 農業公社との連携について</p> <p>(7) 食料自給率の向上</p> <p>2、公有財産の有効活用について</p> <p>(1) 公共施設白書</p> <p>(2) 統廃合が予定される学校施設の今後の利活用について</p> <p>(3) 大橋町市営プールの今後について</p>	<p>① 農業公社との共催で情報発信や研修会を実施し、さらなる活用を通して、佐野ブランドや地酒の原料やうどん・そば、そしてラーメンの材料の小麦粉の生産にもつながるかどうか。</p> <p>① 地産地消の推進と就農意欲の向上につながれば、食糧自給率向上につながると考えるがどうか。</p> <p>① H25 議会で、横田議員が質問をしている。外部評価会議を実施しているのであれば、公共施設白書は必須と考えるが今後の展開について</p> <p>① 廃校プロジェクト等への参加について。</p> <p>① 須永元生誕 150 年(2018 年)に伴い須永元記念館建設を考えてみてはどうか。また、須永元と交流のあった田中正造記念館や人間国宝「田村耕一陶芸館」の併設を民間との協議で実現できるのではないかと。PFI 方式による建設・定期借地権による建設や総合ビルとしての活用が想定されるので、今後の有効活用が必要と考えるがどうか。</p>
---	--

<p>3、各産業団地造成整備にかかる課題について</p>	
<p>(1)就労人口の予測数</p>	<p>①地元雇用を期待するところだが定住人口の予測について 各企業が本格稼働を始めた時、通勤時間帯の混雑予測<sub>全</sub>どの様に整備を進めていくのか</p>
<p>(2)周辺道路の整備について</p>	<p>①佐野インター産業団地(西浦、黒袴第二工区公共施設整備事業・産業団地整備事業)へのアクセスについて確認。 スマート IC へのアクセスだけでなく佐野藤岡インターや国道 50 号線へのアクセス道路の整備が必要ではないか。 通学路整備も喫緊の課題であり、学童等の安全確保をどの様に行っていくのか。</p>
<p>(3)雨水排水の影響について</p>	<p>①佐野スマート IC も同様の施設に接続、産業団地の雨水接続で下流部への環境影響についてどのように考えているのか</p>
<p>(4)周辺地域への地域振興策について</p>	<p>①みかもクリーンセンターや一般廃棄物最終処分場、古くは田之入の清掃センターがある。余熱利用施設利用券、公民館建設費補助等の地域振興費等は考えているのか。</p>